

ゆったりゆるやか、ワンフロアで心地よく暮らす

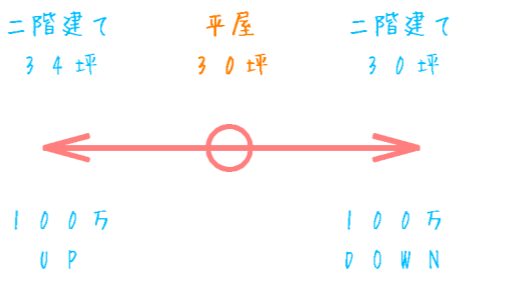
KING OF 平屋



当社で造る家の約7割は平屋で、
 『ココロさんは平屋しか造ってないのですか？』
 『平屋って高いでしょう？』とよく、聞かれます。
 『他社さんで平屋は高いからやめておいた方がいい』とも聞きます。

30坪の平屋と30坪の二階建てで比べた場合、平屋は、屋根や基礎面積が増えるので坪単価でみると、二階建てに比べ100万ほど、高くなります。
 しかし、平屋は階段や廊下のスペースを節約できるので、2階建てよりも4~5坪(8帖~10帖)程度少なく済みます。『坪単価』は高いけど『床面積』を抑えられるので結局は、平屋のほうが100万程度安くなります。
 長い目で見ると、平屋ほど使い勝手がよくコストパフォーマンスの良い家はないと私たちは考えています。

自分が一番家事しやすい間取りと空間づくりが出来るのが、平屋の最大の魅力です。洗濯物干しや片付けが階段等がないため、家事動線がラクになります。
 また、家族との距離が近いので、思春期になった際も、家族のコミュニケーションが取りやすいです。
 年齢を重ねた際に、上下の動きがなく過労せ、もし、介護が必要になっても、リフォームの必要がいらぬかと思えます。



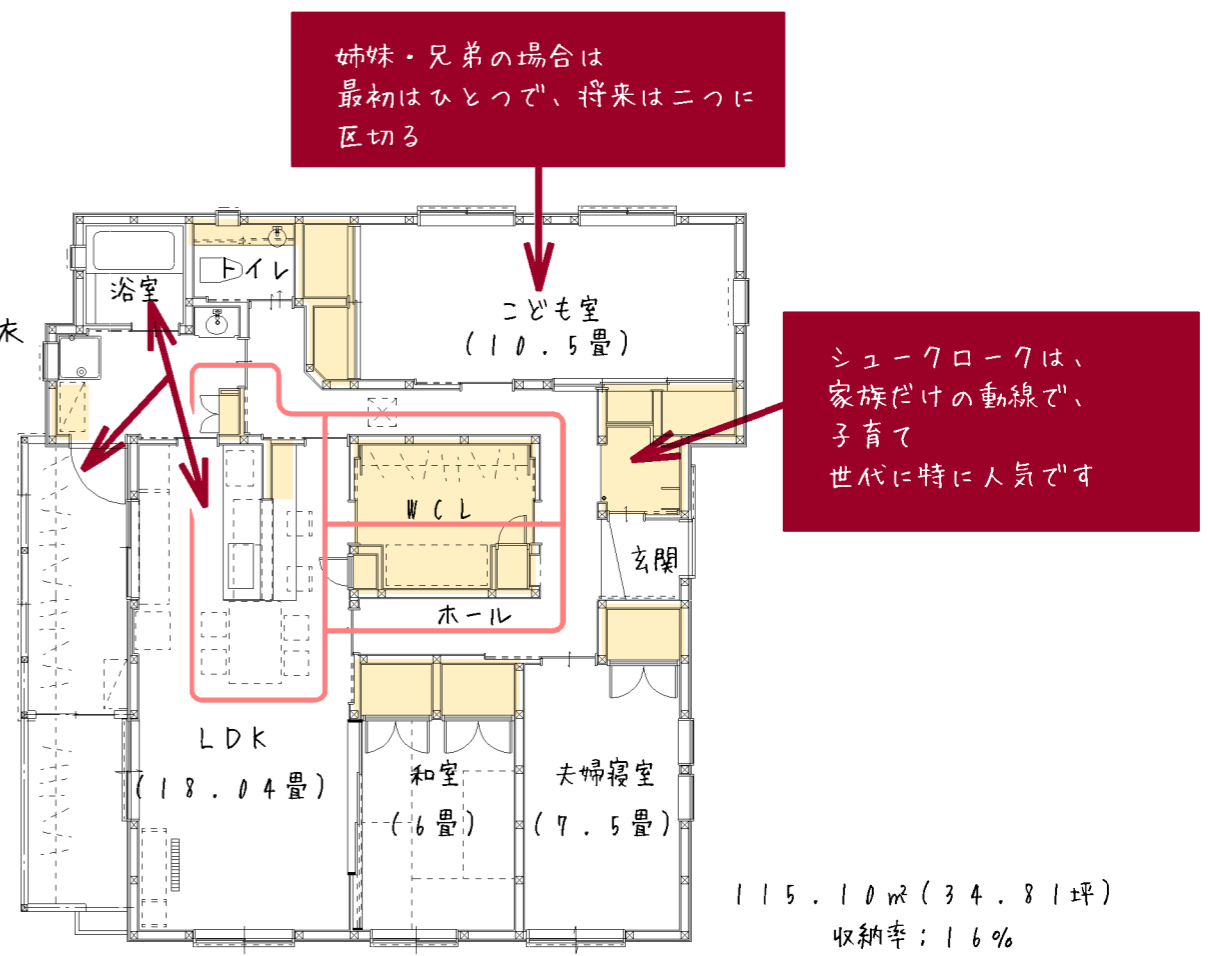
※この金額の差は、当社の場合です。

また、二階に荷重が載らなくて、天井が高く、スパンが広く出来るので、空間が大きく出来ます。それに外壁リフォームや増改築しやすいのも特徴です。

それでも、平屋を諦めたほうがいい場合があります。まず、土地価格の問題で、平屋を建てるだけの土地が確保できない場合、そして、地盤補強工事が必要で、思った以上に金額が膨らむ場合。すぐ南側の建物がなくて、十分な日当たりが確保できない場合などです。

平屋には、あまり興味がない方に、平屋をお勧めしたい場合もあります。80坪近くの土地で、外構工事(庭や駐車場)等をさぼりする予定がなくて、草むしりの苦手な方。家事動線をとにかく楽にしたい共働きの方。思春期になっても子どもの気配を感じたい方。

もし、あなたが家造りで『平屋にしたいなあ』と思っているなら、絶対に平屋をおすすめします。



最短の家事動線
朝のバタバタも
解消します

姉妹・兄弟の場合は
最初はひとつで、将来は二つに
区切る

シュークローブは、
家族だけの動線で、
子育て
世代に特に人気です

115.10㎡(34.81坪)
収納率:16%

メリット

- ✓ 日常の階段の上り下りのストレスがない。
- ✓ 生活動線がスムーズ!
- ✓ 敷地が有効活用できる!
- ✓ 建てた後のメンテナンスが安くなる
- ✓ 台風や地震に強い
- ✓ バリアフリーで老後も安心
- ✓ 無駄のない平屋なら、建築コストも抑えられる
- ✓ 家族の顔が見えやすい
- ✓ 広々とした雰囲気が手に入る
- ✓ 光熱費が抑えられる

平屋はやめていたほうがいい場合

- ✓ 土地が高いところだと、土地から買う場合は全体のコストが上がる

※土地の都合上、
二階だけ子どもの寝室にしたりする方
も多いです

お客様の声

平屋なので、動きやすくすみやすい。
 友人、知人の大半が2階建ての家で、平屋を見て『あ〜よかね』の連発でした。

